

平成16年度中心市街地再活性化関係予算の概算要求の概要

平成15年9月  
農林水産省

事 項	平成16年度 概算要求額	平成15年度 当初予算額
<p>1. 食品販売業者等の活性化・効率化</p> <p>食品小売業者の経営の効率化・活性化を図る新たなビジネスモデルの開発支援、食品小売業者等への知識・技術の教育・普及等による構造改善の推進、魅力ある食品小売業を振興するための人材育成、食品関連事業者から排出される食品残さ等のリサイクルを推進する施設の整備を推進。</p>	16億円 の内数	13億円 の内数
<p>2. 卸売市場の施設整備</p> <p>中核的な卸売市場の再整備及び品質管理・鮮度保持機能等の強化に資する施設の整備。</p>	67億円 の内数	57億円 の内数
<p>3. 食育の推進</p> <p>地域特産物や伝統的食文化など各地域の特色を活かした「食育」の実践活動の展開。</p>	88億円 の内数	79億円 の内数
<p>4. 都市と農山漁村の共生・対流</p> <p>「オーライ！ニッポン」推進運動の展開による都市と農山漁村を双方向で行き交うライフスタイルの実現。</p>	1,221億円 の内数	934億円 の内数
合 計	1,392億円 の内数	1,083億円 の内数

## 平成16年度中心市街地再活性化関係予算事業概要

食品販売業者等を中心とした中心市街地の活性化・効率化 1,635百万円の内数

### 1. 食品小売業経営活性化ビジネスモデル支援事業

多様化する消費者ニーズ等に対応するため、情報ネットワーク化等を活用し、地場農水産物の安定的・効率的な流通体制を確立することで地産地消、地場産品のブランド化を推進する等民間の豊かな発想・能力を活用した新たなビジネスモデルの開発を行う場合に支援する。

### 2. 専門小売活性化事業

食品流通を取り巻く諸情勢の変化に対応していくために必要な知識・技術等の教育・普及等により、構造改善を推進するとともに、魅力ある食品小売業を振興するための人材育成を推進する。

### 3. 食品リサイクル施設整備事業

飲食店や食品販売事業者等食品関連事業者から排出される食品残さ等のリサイクルを推進するため、先進的・モデル的な食品リサイクル施設の整備に対して支援を行い、リサイクルの成果の実証・波及を図る。

卸売市場の施設整備による中心市街地の活性化

6,694百万円の内数

### ○ 卸売市場施設整備事業

中核的卸売市場の再整備と物流機能、品質管理・鮮度保持機能等の卸売市場機能の強化に資する施設の整備を重点的に実施する。

食育の推進

8,843百万円の内数

### ○ 食育を推進する国民的な活動の展開

地域特産物や伝統的食文化など各地域の特色を活かした「食育」の実践活動を展開する。

都市と農山漁村の共生・対流

122,050百万円の内数

### ○ 都市と農山漁村の共生・対流の推進による新たなライフスタイルの実現

「オーライ！ニッポン」推進運動の展開による都市と農山漁村を双方向で行き交うライフスタイルを実現する。